

令和4年度 岐南町立北小学校 学校経営の全体構想

学校の教育目標	豊かに生きる子 ～ 考える子 思いやる子 やりぬく子 ～
---------	-------------------------------------

【羽島郡二町教育委員会の方針】
 様々ななかかわりの中で学び、社会の一員として貢献できる社会人の育成
 ◇家庭や地域の信頼に応え、夢と自信をもち、可能性に挑戦するために必要な力の育成
 ◇個性や能力を発揮して活躍し、学び続ける、活力と連帯感のある人づくり

【学校の課題】
 ○主体的に学ぶ意欲と確かな学力の定着
 ○自己肯定感、思いやりの心、ねばり強くやりぬく心の育成に向けた指導
 ○特別な支援を要する児童の指導と集団規律を高める指導の両立
 ○家庭、地域との連携の強化

【めざす学校】 誰もが「前の自分より、今の自分が好き」といえる学校

【めざす児童の姿】
考える子・やりぬく子
 学習や運動にねばり強く取り組み、自己有用感・自己肯定感がもてる子
思いやる子
 相手を思いやり、互いのよさを認め合い、高め合える子
考える子・やりぬく子
 学級や学校の生活をよりよくするために、自分達で考え行動する子

【めざす姿に近づけるために大切にしている指導】
 (1)年間を5期に分けたターム制をとり、スマイル宣言を核に、目標→評価のサイクルの重点的、継続的な実施
 (2)3つのじまんを本物にすることをめざし、自治力を高める学級活動・児童会活動の充実
 (3)自己有用感を高める場をつくり、それを自己肯定感につなぐ指導の充実
 (4)思いやりの心を育む指導の日常化
 (5)SDGsを意識した指導

考える子 ＜学びづくり＞	思いやる子 ＜心づくり・仲間づくり＞	やりぬく子 ＜体づくり・生活づくり＞
北小スマイル宣言		
①しっかり聞いて たくさん発表します <input type="checkbox"/> 自ら挑戦しようとする土台を育む授業づくり ①ねらいの明確化 ②必然ある課題 ③解決に必要な基礎・基本の定着 ④自分で考え仲間と考え融合した考えの創造 ⑤まとめと評価 <input type="checkbox"/> 特別支援教育の充実 ・全職員体制でのサポート ・計画的な職員研修 <input type="checkbox"/> ICTの活用 <input type="checkbox"/> 読書習慣の定着と深化 ・国語科学習における読書指導 ・調べ学習への活用推進 <input type="checkbox"/> 家庭学習の習慣化 ・内容と方法の指導及び家庭との連携	②自分からあいさつをします <input type="checkbox"/> 思いやりあふれる学級づくり ・思いやり行動の実践 ・いじめをしない＆させない自分づくり宣言 ・自己肯定感と自己有用感を高めるための指導 ★日常的に『ありがとう』を伝え合う指導 <input type="checkbox"/> 道徳教育人権教育の充実 ・『自己を見つめる』道徳授業の充実 ・よさ見つけによる活動の価値の見える化 ・ボランティア活動の広まりと定着 <input type="checkbox"/> 児童会活動の充実 ・誇ることができる活動づくり(常時活動) ・縦割り活動の充実	③だまってそうじをします <input type="checkbox"/> 健全な学校生活づくり ・けがの予防 ★危険の自己認知 ・歯磨きの徹底 <input type="checkbox"/> 無言清掃の徹底と充実 <input type="checkbox"/> 常時活動の充実 <input type="checkbox"/> 自分で自分の身を守る意識の向上 ・様々な想定をした訓練の実施 ・登下校指導の徹底 <input type="checkbox"/> 運動の習慣化による体力の向上 ・児童の実態を分析 → 効果的な運動の実施 ・縦割り活動の効果的な活用 <input type="checkbox"/> 給食指導 ・正しい食事のあり方の体得
「この仲間とともに働くことに喜びや誇りをもてる」同僚性の高い職員集団		

【コミュニティ・スクールの充実】
地域の教育力を生かした行事や活動の場の設定
地域へ学校教育活動の情報発信
地域行事への積極的な参加
隣接するこども園との交流

【保護者との信頼関係づくり】
迅速で配慮のある連絡と連携
保護者の思いを共感的に受け止め、同じ目標を共有する関係の構築
学校便りや学年・学級通信、すぐーる、ホームページを活用した情報発信